

普段見ることのできない水族館の裏側を見学する観光客ら(25日、白浜町の京都

大学白浜水族館で)



春休み解説ツアー始まる

4月7日まで 京大白浜水族館

白浜町の京都大学白浜水族館の春休み特別イベントとして「水族館解説ツアー」が25日から始まりました。訪れた子どもたちは普段見られないバックヤードをのぞいたり、展示生物の説明を聞いたりして、4月7日まで。

同水族館では、以前から磯の観察会などのイベントを行っており、天候に左右されないイベントとして冬休みから計画。初回は計14日間で述べ487人が訪れた。初日の裏側めぐりに

講師は技術職員が務め、魚に与えている餌の種類や海水の循環などについて説明した。京阪神からの参加者がほとんどで、水槽の裏側をのぞき込んだり、海水に手を入れたりして楽しんでいた。

参加希望者は当日、窓口で申し込めばよい。小

学生以上は入場料が必要。裏側めぐりは午前10時40分～11時10分で定員10人。水槽めぐりは午前11時15分～正午で定員20人。入場料は高校生以上

は、4組12人が参加した。の大人が500円、小中学生は110円。